

# 「子どもとメディアみやざき第2回フォーラム」を 開催しました

2020年2月22日(土)、JA-AZM 本館大研修室にて、「アウトメディア ～メディア漬けからの脱出～」のテーマで開催しました。

基調講演「子どもとメディア委員会」担当理事 内海 裕美氏による「スマホ社会の落とし穴 ～子育てに大事なこと～」では、心身の成長発達に必要な時間を奪われている子どもたちについて、また、現在の生活には欠かせないスマートフォンではあるが、スマートフォン社会の危険性を知ることの重要性についての内容でした。

引き続き、子どもとメディアみやざき実態調査部会副会長 谷口 重晴氏による調査結果報告が行われました。

シンポジウム「宮崎でできるアウトメディアの取り組み」では、宮崎県立看護大学 甲斐 鈴恵氏、0.1.2おやこのひろば主宰 工藤 純代氏、NPO法人ヒミツキチ 理事長山下 朋子氏 による話題提供が行われました。宮崎において、こどもの育ちに重要な活動が行われていること、その活動を支える人々が増えないと続けられないことなどが、共有される場となりました。

「スマートフォンの危険性がとてもよく分かった」  
「子どもに愛情をもって関わるのが大切」などの感想  
をたくさん頂きました。



宮崎市行政、保健師、保育士、小・中学校や高等学校教諭など、  
170名の参加がありました。

主催：宮崎県立看護大学 看護研究・研修センター  
(地域貢献事業「宮崎における子育て支援推進事業」)  
子どもとメディアみやざき